

一般質問



【一般質問】町の色々な課題等について、議員が町長等に対して質問や提案をすることです。



藤山 大議員

自然災害の激甚化に対し、人命を守るだけでなく、災害後も自治体機能を迅速に復元する回復力強化が求められています。

昨年の地震では、夜中にニュータウン、メモリアルパークなど高いところに避難する人が多く、懇談会でも防災に関する多くの要望を受けました。

- ① **防災インフラの重要性と回復力強化**について、現状認識と将来展望を伺います。
- ② **ニュータウン方面の道路整備**（福島月崎幹線橋～観音橋3号橋）や、**観音橋3号橋拡張**について見解を伺います。

動画は
こちら



防災

問

防災力と回復力の強化を

答

防災意識向上と
基盤整備を進める

鳴海町長

- ① 津波避難対策計画を策定、避難方法や避難施設での生活環境の充実を進める。

「自分の身は自分で守る」習慣づけと、防災意識の高揚・地域と連携した避難訓練を重視する。

道道改良や福島川護岸改修を北海道と進め、町単独の防災対策事業も計画する。

- ② ニュータウン方面の渋滞は、道路形状も一因だが、避難車両の集中が主な原因と捉えており、避難先の分散で渋滞緩和を図る。

道路整備・橋梁拡張は多額の経費がかかるため、早期対応は厳しい。 災害時のインフラ復旧は被災者支援とともに取り組む。



熊野 茂夫議員

昨年の津波警報・注意報で日中・夜間に避難が生じ、津波一次避難の課題が見えました。計画改定や懇談会の声も踏まえ、短時間での避難行動の実効性を高める必要があります。

一時避難の意識醸成と、徒歩・車に対応した避難路確保が重要と考えますが、今後の避難路確保に対する町長の考えを伺います。

動画は
こちら



防災

問

避難路確保と意識醸成を

答

訓練と啓発で迅速な避難へ

鳴海町長

- ・ 災害時はいち早く逃げる行動が重要で、**日常の訓練等による意識づけが大切**。町内会と協議し、徒歩を基本としつつ車避難も推奨する地区別避難経路を整理する。
- ・ 最短避難ルートの確認など普段からの備えが重要で、**避難場所・経路の周知啓発と防災訓練を町内会と進める**。
- ・ 避難路は既存道路活用を基本に、制度活用や地域の声を踏まえ、新たな整備も含め生命財産を守ることを第一優先に努める。

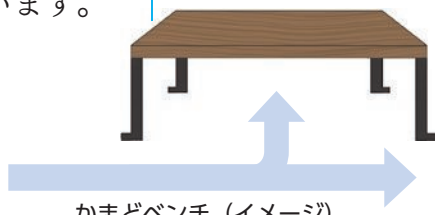


木村 隆議員

旧吉岡温泉は令和9年度に解体し、跡地に防災広場を整備するとされています。

過去に開催された委員会の中でキャンプ場の整備ということで取り上げられており、他市町の防災広場を調べてみると、様々なアクティビティが整備されている。

温泉との連動で集客を目的とするのではなく、ランニングコストを抑えた整備が望ましいと考えるが、どのような防災広場の整備を考えているのか方向性を伺います。



かまどベンチ (イメージ)

動画はこちら



防災

問

旧吉岡温泉の跡地利用の方向性は

答

機能を絞った防災広場を整備

鳴海町長

旧吉岡温泉跡地は、集客目的のキャンプ場整備から、**防災を優先し一時避難場所としての防災広場へ変更**した。防災広場とすることで、有利な財源確保も可能となる。駐車スペース、防災東屋(救護等)、かまどベンチ等を備え、**維持管理費を抑えたコンパクトな整備を検討し、吉岡温泉とも連携する防災拠点**を目指す。

動画はこちら



第2青函トンネル

問

第2青函トンネルで見る町の未来は

答

町民の理解を得て悲願の実現を目指す

平沼 昌平議員

第2青函トンネル構想が大きく前進している中で、町として北海道、青森県、そして国会議員への要望活動を積極的に展開していくとの方針が示されました。

- ①町としての**準備体制**はどうか。
- ②北海道・青森県との**連携の具体像**について。
- ③町民への**説明と情報提供**について。
- ④町の**将来ビジョンとの連携**について。
- ⑤町の**主体的な姿勢**について。

町としてどのような未来像を描き、役割を果たしていくのか見解を伺います。

鳴海町長

- ①**実現する会を設立し事務局は企画課**が担当。情報収集・調整と要請活動を実施。
- ②渡島西部四町、渡島総合開発期成会等と連携を図りながら進めている。青森県今別町とは**準備段階から情報交換し、総会・講演会や勉強会にも参加、本年4月に青森市内で意見交換を予定**している。
- ③～⑤国家プロジェクトとして整備が進むものと捉え、スタート台に立てたとの認識のもと、町民の理解と議会・実現する会の協力を得て、関係機関へ積極的な要請活動を展開する。